

鹿児島県

[編集・発行] 鹿児島県奄美パーク
鹿児島県大島郡笠利町節田1834
電話 (0997) 55-2333
FAX (0997) 55-2612
<http://www.amamipark.com>

Vol. 3
2003 2月

奄美パークだより

一周年記念特集

奄美の郷コーナー

田中一村記念美術館コーナー

奄美パークからのお知らせ



沖永良部

周年記念企画特集



野村万之丞による 「狂言への誘い」



おかげさまで1周年

9月29日、宝くじ文化公演 野村万之丞による「狂言への誘い」が開催されました。第一部では「萬はなし」として野村万之丞さんが狂言をわかりやすく解説、引き続き、田舎者とすっぽ（詐欺師）がこっけいなやりとりを繰り広げる「仏師」と、野村万之丞さんが落語とのコラボレーションによって創作した新たな狂言「子ほめ」の2題を一座の二人と共に演じました。また、第二部では野村万之丞さんと宮崎緑園長によるトークショーやが行われ、奄美の文化や伝統芸能などについて語られました。当日は、奄美で初めての狂言ということもあり、立ち見客も大変多く見られ会場を取り囲むほどの盛況でした。わかりやすく説明された舞台に会場はにぎやかな笑い声があふれ、狂言の世界を楽しみました。

公開座談会

「田中一村を語る」



(平成14年9月28日)

当美術館顧問大矢鞘音さんが「田中一村の作品世界」と題して基調講演をしたほか、座談会では、一村のあいにあたる新山宏さん、めいの川村不昧さんらが「上手に野菜や果樹を育てる一村は画家ではなく、百姓という認識の方が強かった」「精魂込めて作った農作物を人には一番いいものをあげて、自分たちはその残り物を食べていた」など優しかった叔父一村のエピソードが語られ、会場に集まった約100名の参加者は熱心に聞き入っていました。

岡田家寄託作品 特別展

(平成14年9月26日～10月29日)

一村が奄美来島前の千葉寺時代の作品を所有する千葉県在住の岡田正思さんから27点もの作品の寄託がありました。「百年に一人の逸材」と一村の才能を高く評価した正思さんの父藤助さん（故人）のコレクションだったので初公開の作品もありました。大変貴重な作品の寄託で、より当美術館が充実しました。

「第1回奄美を描く美術展」

開催期間

入場料

会場

平成15年2月13日～3月9日

無料

田中一村記念美術館



5月3日～5日の3日間「奄美っ子フェスタ」が開催されました。

3日の多目的広場を利用したイベント「みんなで遊ぼう奄美パーク」では、地元のエイサー太鼓やバンド演奏などが行われました。特にペンシルバルーンやマジックショーは大盛況でした。

4日は、イベント広場で「みんなで唄あう奄美パーク」が行われ、地元の児童、学生による島唄、舞踊、太鼓などが披露されました。

5日は、奄美の郷で「ハギレで鯉のぼりを作ろう」には、約50名の親子が参加して大島紬のハギレを利用した鯉のぼりの切り絵を作成しました。また、イベント広場では（有）サンエイ・グループ主催の「第1回島一番子供島唄大会」も開催され大人顔負けのチビッ子たちの熱唱で盛り上りました。



8月18日イベント広場で「奄美パークサマーコンサート ~島唄古来から今の世へ~」が開催されました。

オープニングの奄美高校郷土文化研究部「六調太鼓」に引き続き、第1部では皆吉佐代子親子による「親子で唄う先祖の唄・新しい唄」、第2部では「みな合わせて500歳！でい～寄らいんしょろ・唄いんしょろ」と題し、ベテランの唄者達が古い歌詞を交えた島唄を披露してくれました。

奄美の郷 コリナ

奄美パークサマーコンサート
～島唄古来から今の世へ～



6月29日～7月31日までの33日間「ネリヤカナヤフェスタ」が開催されました。期間中は、ナポレオンフィッシュの剥製の展示水中写真展や海で使う道具作り、9面マルチを使った水中映像の放映などを通じて、奄美の海の魅力を広く紹介することができました。

また、7月30日のメインイベントは、夏休み期間ということで多くの家族連れや帰省客が訪れ、地元のバンド演奏や舞踊をはじめ、島唄や八月踊りなどに大変盛り上がりました。

30万人突破

10月9日、奄美パークへの来園者が30万人を突破し、関係者による記念セレモニーが行われました。幸運の30万人目となった群馬県北群馬郡子持村の小渕澄江さん(69)は「たくさんのかメラに囲まれビックリした。奄美のすべてを見てみたい。最高の思い出になりました。」と喜びを話されました。



全国野鳥保護の集い

5月12日に常陸宮同妃殿下をお迎えして「全国野鳥保護の集い」が開催されました。

当日はあいにくの雨となり、会場を多目的広場からイベント広場へ変更しての開催となりましたが、多くの方が出席され、歓迎アトラクションや野性生物功労者表彰などが盛大に行われました。





「1997年夏の田中一村の写真と坂村眞民の詩」展

(平成14年6月6日～7月7日)

1997年 昭和52年9月11日夕食の野菜を刻んでいる時心不全で倒れ、田中一村は69年の生涯を閉じる。その年の夏、栃木の写真家田辺周一さんが奄美の友人の誘いを受け来島し、名瀬市有屋に住む田中一村を撮った写真40点と、一村の生き方と作品に深く感動して詠まれた坂村眞民先生の詩14編を併せて展示しました。



奄美在住作家展（洋画） ～大地の鼓動～ 久保井博彦展

(平成14年5月1日～21日)

奄美の民族、風景など「島」をテーマとした油絵61点が展示されました。

学生時代の作品や、名瀬市美展大賞作品、所属の写実画壇の選抜50人展出品作品など久保井さんの温かな視点を通した躍動感あふれる作品を大勢の方々が見入っていました。



2002年「視点」第27回鹿児島奄美展

(平成14年8月20日～27日)

奄美で初めて全国公募の巡回写真展が田中一村記念美術館で開催されました。

最高賞の「視点賞」に輝いた名瀬市の写真家西田テル子さんの作品「奄美、神々の島」をはじめ、入賞・特選作品130点を展示しました。



奄美在住作家展（写真） あまみ・記憶の地層 西田テル子写真展

(平成14年7月28日～8月18日)

石田テル子さんは、人物を被写体に奄美の民族行事や日常生活を撮り続けている名瀬市の写真家です。今回の個展は、写真を始めた最初の原点を振り返り、奄美を語るのに、人々の自然な表情を通して表現できればと、奄美の各島々で撮られた作品66点を展示しました。会場では夏休みということもあり、帰省客などから「なつかしい」「うちのばあちゃんが写ってる」などのことばが聞かれました。

一村ジュニア絵画大賞展

(平成14年9月17日～23日)

奄美の自然を描き続けた画家、田中一村の顕彰と奄美をテーマにした作品制作を通して自然や文化への認識を深めてもらおうと1999年から一村会主催で始まった同展の巡回展が開催されました。今回は過去最高の404点の作品があり、大賞に輝いた久慈中2年の森早子さんの作品「夏の日のアダン」など214点が展示されました。

てんじしゅう TENJISITU

田中一村記念美術館常設展示室展示作品

展示期間（12月19日～3月18日）

常設展示室 1

・ハマグリ	大正7年（1918）	10才
・天下第一春	大正10年（1921）	13才
・書	昭和2年（1927）	19才
・野菜図	昭和2年（1927）	19才
・山水図	大正14年（1925）	17才
・蕗の薹とメダカの図	昭和6年（1931）	23才
・倣蕪村①	昭和22年（1947）頃	39才頃
・倣木米②	昭和22年（1947）頃	39才頃
・倣聲米③	昭和22年（1947）頃	39才頃
・水墨松図	昭和32年（1957）頃	49才頃
・扁額（花）	昭和5年（1930）頃	22才頃
・田園夕景	昭和19年（1944）頃	36才頃
・田植え	昭和20年（1945）頃	37才頃
・麦播	昭和19年（1944）頃	36才頃

常設展示室 2

・千葉寺の春（牛のいる風景）	昭和30年（1955）頃	47才頃
・千葉寺・浅春譜	昭和30年（1955）頃	47才頃
・カケス	昭和30年（1955）頃	47才頃
・千葉寺風景②	昭和30年（1955）頃	47才頃
・九里狭	昭和30年（1955）	47才
・由布風景	昭和30年（1955）	47才
・ハマユウとヒギリ	昭和30年（1955）	47才頃
・宝島	昭和30年（1955）	47才

田中一村記念美術館常設展示室展示作品予定

展示期間（3月20日～6月17日）

常設展示室 1

・牡丹図	昭和2年（1927）	19才
・藤図	昭和2年（1927）	19才
・ケイトウ	昭和7年（1932）	24才
・倣蕪村②	昭和22年（1947）頃	39才頃
・倣木米①	昭和22年（1947）頃	39才頃
・倣聲米②	昭和22年（1947）頃	39才頃
・アジサイ	大正9年（1920）	12才
・凌波仙士	大正10年（1921）	13才
・花菖蒲	大正14年（1925）	17才
・牡丹図	昭和2年（1927）	19才
・夏富士	昭和18年（1943）頃	35才頃
・牛を引く農夫	昭和19年（1944）頃	36才頃
・カワセミ	昭和20年（1945）頃	37才頃
・花と軍鶏	昭和28年（1953）	45才
・素描・軍鶏	昭和28年（1953）	45才

常設展示室 2

・千葉寺の春（馬のいる風景）	昭和30年（1955）頃	47才頃
・ザクロ図	昭和30年（1955）頃	47才頃
・トラツグミ		
・千葉寺風景①	昭和30年（1955）頃	47才頃
・岩上のアカヒゲ	昭和34年（1959）	51才

・高倉のある風景	昭和35年（1960）頃	52才頃
・高倉風景	昭和35年（1960）頃	52才頃
・花と蝶	昭和35年（1965）	57才
・花と蛾	昭和50年（1975）	67才
・竹にオオルリ	昭和35年（1960）頃	52才頃
・素描・鳥②		
・素描・魚③		
・素描・魚①		
・素描・エビ③		
・熱帯魚	昭和47年（1972）頃	64才頃
・素描・魚④		

常設展示室 3

・パパイア	昭和35年（1960）	52才
・奄美の杜⑨～ビロウとアカショウビン	昭和37年（1962）頃	54才頃
・ソテツ残照	昭和45年（1970）頃	62才頃
・ダチュラとアカショウビン	昭和40年代	
・奄美の杜②～サクラツツジとオオタニワタリ～	昭和40年代	
・奄美の杜⑤～ガジュマルにトラフズク～	昭和40年代	
・奄美の杜①～ビロウ・コンロンカに蝶～	昭和40年代	
・奄美の杜⑦～ビロウ樹～	昭和40年代	
・花と鳥	昭和40年代	
・奄美の杜③～ビロウとハマユウ～	昭和40年代	
・魚樵對問	昭和35年（1960）頃	52才頃
・鬼ガ城黎明	昭和30年（1955）	47才
・足摺狂濤	昭和30年（1955）	47才
・高千穂①	昭和30年（1955）	47才
・雲仙雨霽	昭和30年（1955）	47才
・パパイアのある風景	昭和30年代	
・海辺	昭和30年代	
・野性蘭と蝶	昭和40年（1965）	57才
・ブダイとサンゴジュ	昭和50年（1975）	67才
・素描・鳥⑤		
・素描・エビ③		
・素描・鳥③		
・素描・鳥⑨		

常設展示室 3

・奄美の杜①～ビロウ・コンロンカに蝶～	昭和40年代	
・奄美の杜④～草花と蝶～	昭和40年代	
・奄美の杜⑧～ビロウとブーゲンビレア～	昭和40年代	
・パパイアと高倉	昭和35年（1960）頃	52才頃
・ソテツ残照	昭和45年（1970）頃	62才頃
・花と鳥	昭和40年代	
・アダンの木		
・崖の上のアカショウビン		
・奄美の杜（未完）		
・奄美の杜⑪～ソテツとアダン～	昭和36年（1961）	53才

美術館にクッションの寄贈がありました。

奄美大島全域で組織する、在宅重度肢体不自由者の交流会「ゆすかる」会の皆様方から手作りクッションの寄贈がありました。ありがとうございました。

月1回開かれる交流会時に当美術館のことが話題に出て「休憩したくても椅子が木製のため、やせた人にとってはつらい」等の意見があり、美術館にクッションを寄贈しましょうという提案がなされたそうです。奄美パークのイメージを壊さないようにと、大島紬でアップリケなどをあしらう2ヶ月間かかって出来たそうです。

当美術館では「ゆする」会の趣旨に沿い、クッションの貸出をいたしております。ご希望のお客様は受付案内までお申し下さい。



鹿児島県奄美パーク



奄美パーク

花・屋・夢あふれる 未来へのゲートウェイ

第一のご案内

バーチャル施設の利用案内、アクセス方法などを記載しています。



奄美の郷

奄美の世界、歴史、文化を紹介する展示なども楽しめます。また、お土産の販売場を併設しています。



田中一村記念美術館

奄美の絵画巨匠田中一村の人生と作品、田中一村の歴史的創作を展示する美術館。



リンク集

奄美パークに関するホームページを紹介します。



お問い合わせ掲示板

奄美パークに関するお問い合わせができます。

（奄美の郷、田中一村記念美術館、二つの施設）

（奄美市役所、アートコロニー、アートコロニー、アートコロニー）

（奄美パークホームページ、マガジン、公式HP）

（お問い合わせ用紙）

（お問い合わせ用紙）

（お問い合わせ用紙）

（お問い合わせ用紙）

（お問い合わせ用紙）

（

あなたは001387人の読者です。

●開園時間／9:00～18:00（7月・8月は9:00～19:00）

入園は、閉園時間の30分前までです。

●休園日／毎月第1及び第3の水曜日（祝日の場合は翌日）

（4月29日～5月5日、7月21日～8月31日は開園）

年末年始（12月30日～1月1日）

●施設観覧料／（奄美の郷、田中一村記念美術館共通観覧料）

大人400円、高校・大学生280円

小・中学生200円、幼児（小学生未満）無料

●お問い合わせ

鹿児島県

奄美パーク

■奄美の郷

■田中一村記念美術館

〒894-0504 鹿児島県大島郡笠利町節田1834 Tel. 0997-55-2333 Fax. 0997-55-2612

<田中一村記念美術館> Tel. 0997-55-2635 Fax. 0997-55-2613

2003田中一村カレンダー発売中

☆お値段 1,200円

☆お問い合わせ

ミュージアムショップ蒲葵の葉
(田中一村記念美術館内)

TEL 0997-55-2113

FAX 0997-55-2613

担当 神田

奄美パークから

お知らせ

様々な企画
満載です。

図書資料室 利用案内

当美術館の図書資料室にはいろいろなジャンルの芸術に関する図書が約600冊あります。無料ですので気軽にご利用下さい。

※図書の貸し出しはいたしておりません。

奄美の旬な情報がリアルに！

奄美パークホームページに

アクセスして下さい。

群島内各市町村のホームページへもリンクできます。

<http://www.amamipark.com>

ボランティア
ガイドスタッフ
募集中

詳しくは事業課まで

